

2018年3月期
第2四半期

決算説明会資料

2017年11月2日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2018年3月期 第2四半期 連結決算概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		2Q累計 業績予想 (5/11)	対予想増減	
売 上 高	327,601	311,816	▲15,784	▲ 4.8%	317,900	▲6,083	▲ 1.9%
営 業 利 益	13,301	11,669	▲1,632	▲12.3%	9,100	2,569	28.2%
経 常 利 益	17,735	15,634	▲2,100	▲11.8%	12,800	2,834	22.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,732	11,609	▲1,122	▲8.8%	8,800	2,809	31.9%

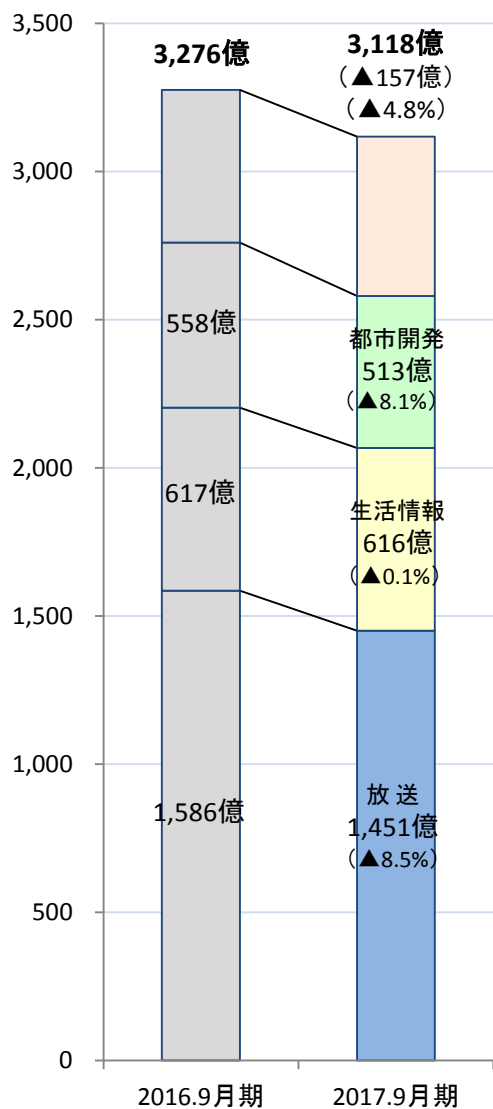
セグメント別の売上高及び営業利益

《2017/4～2017/9》

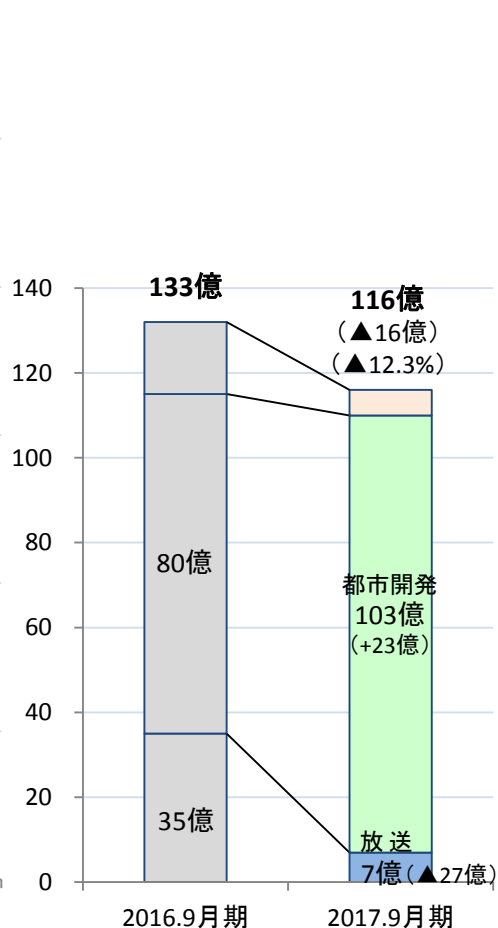
(単位:百万円)

	事業セグメント									合計	調整額	連結 損計算 上額
	放送 事業	制作 事業	映像 音楽 事業	生活 情報 事業	広告 事業	都市 開発 事業	その他 事業					
売上高	当期	145,191	24,301	23,418	61,679	21,524	51,391	15,002	342,509	▲30,692	311,816	
	前期	158,641	24,186	23,134	61,738	22,199	55,893	14,181	359,975	▲32,374	327,601	
	増減	▲13,449	115	283	▲59	▲674	▲4,502	820	▲17,465	1,681	▲15,784	
	増減%	▲8.5%	0.5%	1.2%	▲0.1%	▲3.0%	▲8.1%	5.8%	▲4.9%	—	▲4.8%	
営業利益	当期	776	858	▲358	▲144	200	10,387	264	11,984	▲315	11,669	
	前期	3,512	1,008	180	▲24	132	8,039	351	13,200	100	13,301	
	増減	▲2,736	▲150	▲539	▲120	67	2,347	▲86	▲1,216	▲415	▲1,632	
	増減%	▲77.9%	▲14.9%	—	—	51.2%	29.2%	▲24.6%	▲9.2%	—	▲12.3%	

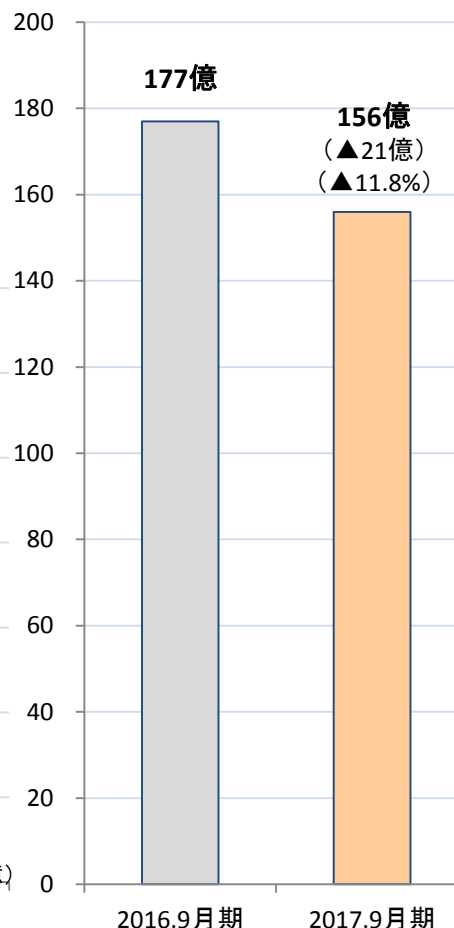
2018年3月期 第2四半期 連結決算概要(前期比較)



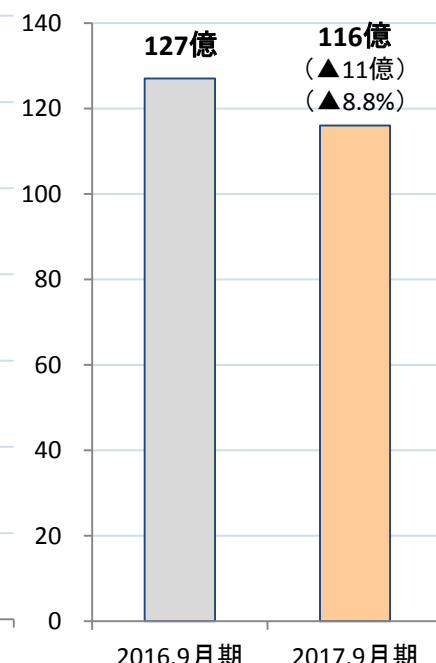
売上高



営業利益



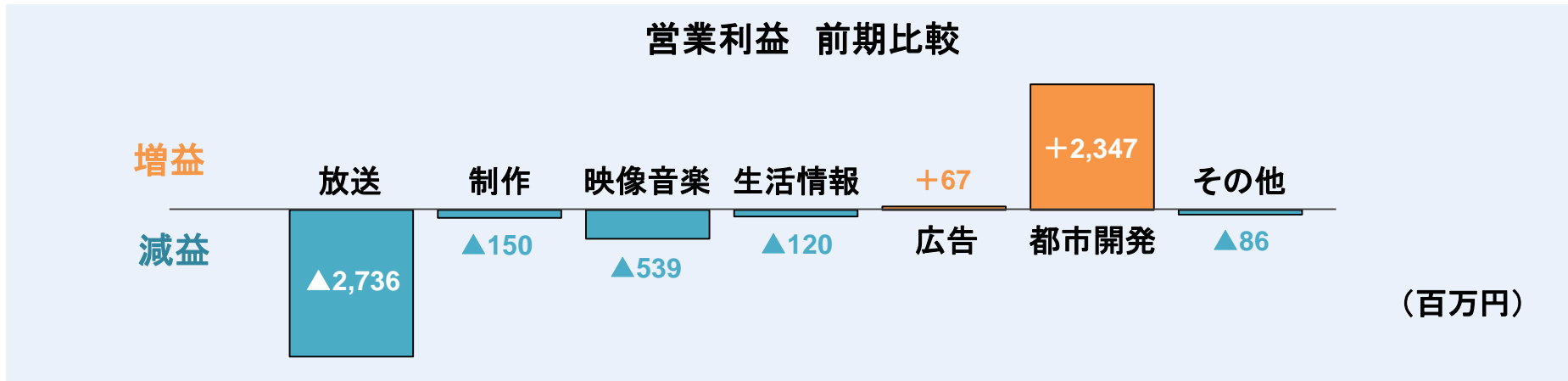
経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益

第2四半期決算(4月-9月)業績のポイント

連結営業利益116億円 減収減益



放送(フジテレビ)

- 放送収入の減収をカバーできず、減収減益
- イベントは前期の大型作の反動で減収
映画は二次利用収入が収益貢献

生活情報

- ディノス・セシールは、ディノス事業の施策が奏功
カタログ、テレビ通販ともに堅調に推移 増収増益
- サンケイリビング新聞社は苦戦
セグメント全体では減収赤字幅拡大

映像音楽(ポニーキャニオン)

- パッケージの販売不振 見込み下回る
配信、海外販売などノンパッケージ分野は拡大
- 在庫の廃棄損計上で赤字幅拡大

都市開発(サンケイビル/グランビスタ)

- サンケイビル 保有ビルの売却で資産開発事業
が貢献 ビル事業も堅調 増益
- グランビスタ
ホテルが好調、前期の改修工事の影響も解消

<セグメント詳細>放送事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	144,165	127,213	▲16,952 (▲11.8%)	2,305	▲836	▲3,142 (-)
ビーエスフジ	8,340	8,483	143 (1.7%)	1,171	1,431	260 (22.3%)
ニッポン放送	7,092	7,048	▲44 (▲0.6%)	79	133	54 (69.1%)
その他及び セグメント内修正等	▲957	2,447	—	▲43	46	—
合計	158,641	145,191	▲13,449 (▲8.5%)	3,512	776	▲2,736 (▲77.9%)

<セグメント詳細>制作事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジクリエイティブ コーポレーション	6,271	7,703	1,432 (22.8%)	422	399	▲22 (▲5.4%)
共同テレビジョン	7,211	6,849	▲362 (▲5.0%)	186	91	▲94 (▲50.7%)
その他及び セグメント内修正等	10,702	9,748	—	400	366	—
合 計	24,186	24,301	115 (0.5%)	1,008	858	▲150 (▲14.9%)

<セグメント詳細>映像音楽事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ポニーキャニオン	15,885	16,021	136 (0.9%)	▲269	▲848	▲579 (-)
その他及び セグメント内修正等	7,249	7,396	—	450	490	—
合 計	23,134	23,418	283 (1.2%)	180	▲358	▲539 (-)

<セグメント詳細>生活情報事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ディノス・セシール	54,335	54,687	352 (0.6%)	3	170	166 (-)
その他及び セグメント内修正等	7,402	6,991	—	▲28	▲314	—
合 計	61,738	61,679	▲59 (▲0.1%)	▲24	▲144	▲120 (-)

<セグメント詳細> 広告事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
クオラス	22,199	21,524	▲674 (▲3.0%)	132	200	67 (51.2%)
セグメント内修正等	—	—	—	▲0	▲0	—
合計	22,199	21,524	▲674 (▲3.0%)	132	200	67 (51.2%)

<セグメント詳細>都市開発事業 会社別概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	36,586	30,201	▲6,384 (▲17.5%)	6,158	6,365	207 (3.4%)
グランビスタ ホテル&リゾート	14,423	15,548	1,124 (7.8%)	1,744	2,164	420 (24.1%)
その他及び セグメント内修正等	4,883	5,640	—	137	1,857	—
合計	55,893	51,391	▲4,502 (▲8.1%)	8,039	10,387	2,347 (29.2%)

営業外収益・費用の主な内容

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
	受取配当金	1,549	1,761	212	13.7%
	持分法による 投資利益	2,048	1,576	▲472	▲23.1%
	そ の 他	2,036	1,541	▲495	▲24.3%
営業外収益合計		5,635	4,879	▲755	▲13.4%
営業外費用					
	支払利息	760	628	▲132	▲17.3%
	そ の 他	440	285	▲154	▲35.2%
営業外費用合計		1,201	914	▲286	▲23.9%

特別利益・損失の主な内容

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
投 資 有 価 証 券	益	45	778	733	—
投 売 却					
そ の 他		48	102	54	112.7%
特 別 利 益 合 計		93	881	787	839.2%
特 別 損 失					
固 定 資 産	損	207	101	▲106	▲51.3%
除 却					
投 資 有 価 証 券	損	21	81	59	276.9%
投 評 価					
退 職 給 付 制 度	損	—	108	108	—
改 定					
そ の 他		1,209	108	▲1,101	▲91.1%
特 別 損 失 合 計		1,439	399	▲1,039	▲72.2%

セグメント情報(連結子会社)

セグメント		会社名	会社数		
放	送	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送	4社		
制	作	フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、バスク、フジ・メディア・テクノロジー、NEXTEP、フジアール、バンエイト、共同エディット、ベイシス	9社		
映	像	音楽	フジ・ミュージックパートナーズ、ポニーキャニオン、ポニーキャニオンエンタープライズ、エグジットチューンズ、フジパシフィックミュージック、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、ARC/CONRAD MUSIC	9社	
生	活	情	報	サンケイリビング新聞社、ディノス・セシール、リビングプロシード、ディノス・セシールコミュニケーションズ	4社
広	告	クオラス	1社		
都	市	開	発	サンケイビル、グランビスタホールディングス、甲子園開発、サンケイ会館、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルウェルケア、サンケイビルテクノ、サンケイビルマネジメント、SKB USA、SKB Seattle	10社
そ	の	他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジゲームス、フジキャリアデザイン、FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL、Fuji&gumi Games	7社	
合	計		44社		

※赤色は当期から連結

フジテレビの業績

2018年3月期 第2四半期 フジテレビ決算概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	144,165	127,213	▲16,952	▲11.8%
営業利益	2,305	▲836	▲3,142	—
経常利益	2,670	▲612	▲3,283	—
四半期純利益	1,647	▲522	▲2,169	—

放送事業 収入と原価

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	107,951	▲9,495	▲8.1%
放送収入	91,884	▲8,723	▲8.7%
ネットタイム	38,847	▲6,573	▲14.5%
ローカルタイム	6,649	228	3.6%
スポット	46,387	▲2,378	▲4.9%
その他 放送事業収入	16,066	▲771	▲4.6%
番組販売	8,755	106	1.2%
C S 放送・その他	7,311	▲878	▲10.7%
放送事業原価	77,221	▲5,326	▲6.5%

スポット収入 業種別動向

2017年7月～9月

※管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	15.8%	15.2%	▲7.6%
情報・通信・放送	13.1%	14.5%	▲6.5%
非アルコール飲料	8.6%	8.5%	▲4.1%
食品	8.5%	7.7%	▲12.1%
自動車・関連品	6.3%	7.4%	▲14.0%
医薬品・医療用品	5.6%	6.7%	▲15.9%
出版・エンタテインメント	7.4%	6.6%	▲13.6%
外食・各種サービス	5.6%	5.6%	▲3.8%
金融・保険	5.3%	4.9%	▲10.4%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
衣料・身回品・雑貨	3.2%	4.6%	▲37.6%
事務・精密・光学機器	2.8%	3.4%	▲16.7%
流通・小売業	4.3%	3.1%	▲29.9%
アルコール飲料	2.9%	3.0%	▲1.0%
不動産・住宅設備	3.1%	2.7%	▲16.7%
交通・レジャー・観光	2.4%	2.4%	▲5.7%
電話サービス	2.0%	1.8%	▲13.6%
家電・AV機器	1.4%	0.9%	▲33.1%
エネルギー・機械	0.4%	0.4%	▲12.6%
その他	1.5%	0.7%	▲56.3%

番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	21,599	20,495	▲5.1%
第2四半期	23,619	20,305	▲14.0%
上期	45,218	40,801	▲9.8%
第3四半期	21,709		
第4四半期	21,295		
下期	43,004		
通期	88,223		

※自社制作番組及び購入番組の直接費

その他事業 収入と原価

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	19,261	▲7,456	▲27.9%
催物事業収入	5,343	▲6,717	▲55.7%
映画事業収入	4,476	▲483	▲9.7%
デジタル事業収入	4,112	470	12.9%
MD事業収入	2,182	▲539	▲19.8%
ビデオ事業収入	1,002	▲138	▲12.1%
その他の収入	2,143	▲49	▲2.2%
その他事業原価	15,780	▲5,983	▲27.5%

販管費及び営業外損益概要

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	35,047	▲2,500	▲6.7%
販売費	24,594	▲1,896	▲7.2%
一般管理費	10,453	▲604	▲5.5%
営業費用合計	128,049	▲13,810	▲9.7%
営業利益	▲836	▲3,142	—
営業外収益	346	▲163	▲32.1%
営業外費用	122	▲21	▲15.1%
経常利益	▲612	▲3,283	—

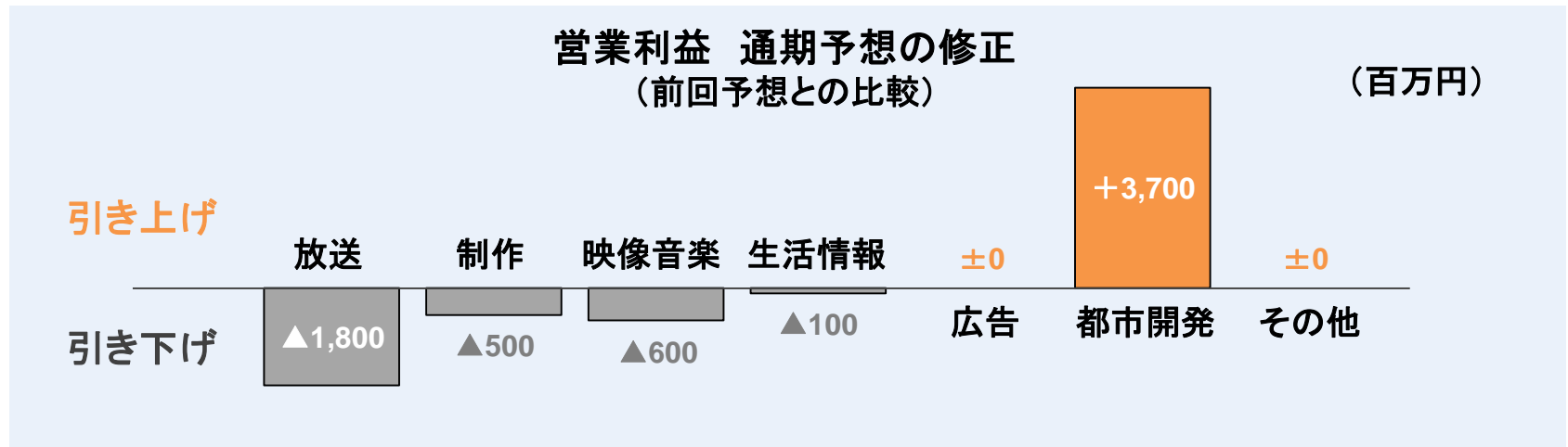
2018年3月期 業績予想

業績予想修正のポイント

通期の連結営業利益予想235億円は修正なし

都市開発事業を上方修正

放送、制作、映像音楽、生活情報事業は引き下げ



放送 (フジテレビ)

- 放送収入の見込みを下方修正
- 費用コントロールとその他事業の収益で利益確保を目指す

映像音楽 (ポニーキャニオン)

- 在庫の廃棄損計上の影響が響き、下方修正
- 引き続き、ノンパッケージ分野へのシフトを図る

都市開発 (サンケイビル・グランビスタ)

- 上期の資産開発事業で大きく見込みを上回り、上方修正
- 新規オフィスビルやホテルを順次開業予定 収益基盤拡大へ

2018年3月期 業績予想の修正

《2017/4～2018/3》

(単位:百万円)

連結	通期予想	前回予想	増減額
売上高	644,600	661,500	▲16,900
営業利益	23,500	23,500	—
経常利益	30,500	30,500	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,300	21,300	—

セグメント別業績予想【通期】

《2017/4～2018/3》

(単位:百万円)

	事業セグメント										合計	調整額	連 損 計 算 上	結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 情 事 業	活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業	そ の 他 事 業				
売上高	通期予想	294,000	47,200	47,200	129,900	43,500	111,400	29,400	702,600	▲58,000	644,600			
	前回予想	300,900	50,400	50,000	135,700	43,500	106,900	31,800	719,200	▲57,700	661,500			
	増減額	▲6,900	▲3,200	▲2,800	▲5,800	—	4,500	▲2,400	▲16,600	▲300	▲16,900			
営業利益	通期予想	6,400	1,400	700	1,200	400	14,200	▲100	24,200	▲700	23,500			
	前回予想	8,200	1,900	1,300	1,300	400	10,500	▲100	23,500	—	23,500			
	増減額	▲1,800	▲500	▲600	▲100	—	3,700	—	700	▲700	—			

設備投資計画と減価償却費

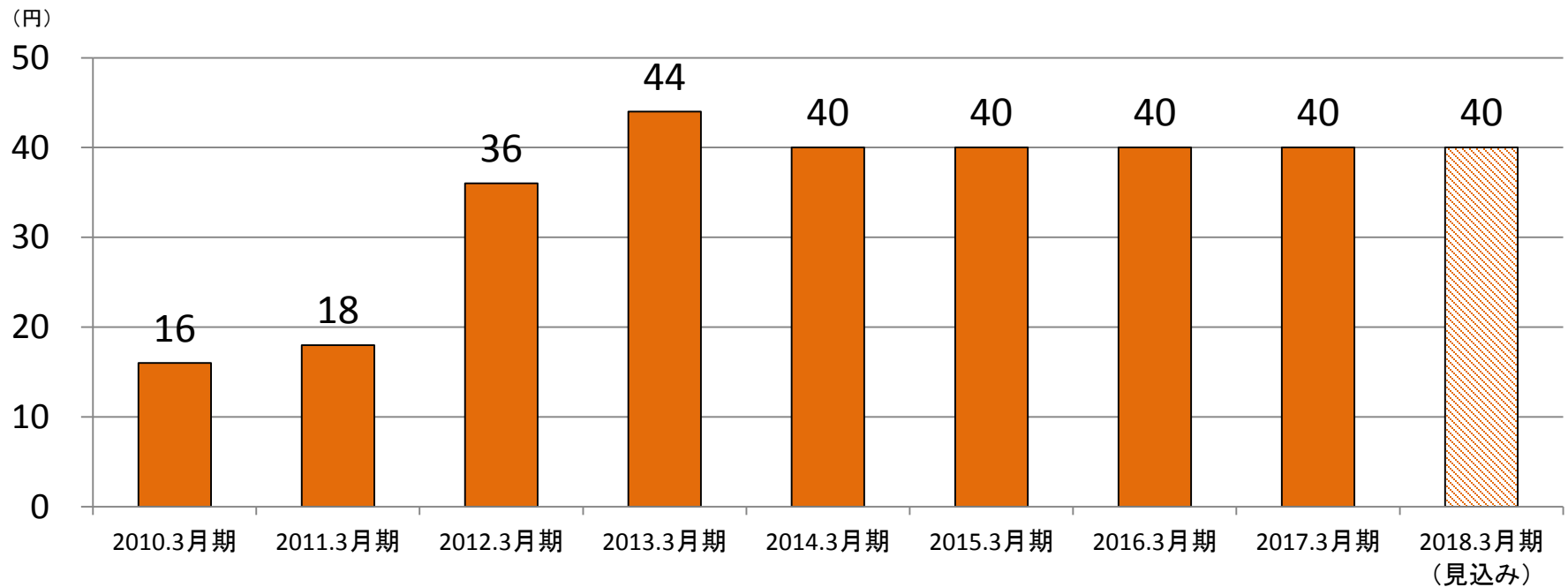
(単位:百万円)

		2018年3月期		2019年3月期 通期 (計画)
		上期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連 結	16,347	48,100	44,200
	フジテレビ	2,278	9,800	11,000
	都市開発事業	12,644	34,200	28,300
	フジ・メディアHD	136	800	800
減価償却費	連 結	8,706	18,400	21,300
	フジテレビ	3,614	7,800	9,200
	都市開発事業	2,205	4,400	6,000
	フジ・メディアHD	1,138	2,400	2,000

株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2018年3月期 年間配当 40円（変更なし）



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

各社の取り組み

放送事業 (フジテレビ)

- 7月に組織体制を大きく変更 編成部門に権限を集中
 - ◆番組制作、映画、マーケティング、広告宣伝の各部門を傘下に
 - ◆キッズ、ティーン、20歳代～40歳代を中心に、幅広い層からの支持拡大を目指す
- 10月改編 週末プライムタイムのバラエティに注力
来年4月、10月の改編まで見据えたタイムテーブルの改革に着手

イベント事業

シルク・ドゥ・ソレイユ
「キュリオス」

2018年2月開幕
東京、大阪、名古屋、
福岡、仙台を巡演



「怖い絵」展

2017/10/7～2017/12/17
上野の森美術館

映画事業



10月21日公開
「ミックス。」



2018年2月公開
「今夜、ロマンス劇場で」

放送事業 (BSフジ)

- 「BSフジLIVE プライムニュース」や、「クイズ！脳ベルSHOW」など、レギュラー番組が好調
- 10月改編
既存番組の強化やオリジナリティを重視した新企画にチャレンジ



「BSフジ11時間テレビ 全国対抗！脳トレ生合戦！！」
11月11日放送予定

人気のクイズ番組「クイズ！脳ベルSHOW」を
ベースにした11時間生放送の大型特別番組

生活情報事業 (ディノス・セシール)

- ディノス事業は、カタログの発行タイミングの見直しや、テレビとeコマースを連携させた戦略が奏功
カタログ、テレビ通販ともに堅調に推移

女優の長谷川京子さんが
モデルのカタログ
「So close,」が好評

WEB限定コンテンツ
“STAY close, ”も人気



- 新規ビジネスにも積極的にチャレンジ



購入検討型家具レンタルサービス
「flect(フレクト)」が10月からスタート

ディノスで販売する新品家具が対象
試してから購入できるサービスで
新規顧客の獲得を狙う

都市開発事業

(サンケイビル／グランビスタ)

営業利益100億円を安定的に
創出する事業へ

- 都心の好立地に狙いを絞り、
高機能オフィスビルや賃貸レジデンス
の開発に注力
収益基盤の安定化と拡大を図る
- 新ホテルブランド「INTERGATE HOTELS」を発表
サンケイビルとグランビスタが共同開発

利便性の高い人気エリアに立地
2019年春には広島と金沢にも開業予定




INTERGATE
HOTELS
by GRANVISTA

「ホテルインターゲート京都 四条新町」
2018年3月開業予定

「ホテルインターゲート東京 京橋」
2018年4月開業予定

その他事業 (フジゲームス)

- フジゲームスとして初の新作アプリゲーム
この冬リリース予定

「ORDINAL STRATA (オーディナル ストラータ)」

ドラマチックファンタジーRPG (株)マーベラスとの協業



番組、アニメ、ラジオなどとの
プロモーション企画で、着実なヒットを目指す

- キャラクター表現力とシナリオ性に強み
を持つゲームエンジンを開発

(株)スマイルラボとの共同開発

当ゲームエンジンを活用したオリジナルゲーム
第一弾の開発に着手
女性をメインターゲットにしたオリジナルRPG

- P. 29 : Photos: Martin Girard, Pierre Manning / shootstudio.ca © 2014 Cirque du Soleil
- P. 29 : ゲルマン・フォン・ボーン《クレオパトラの死》1841年 油彩・カンヴァス ナント美術館蔵
© RMN-Grand Palais / Gérard Blot / distributed by AMF
- P. 29 : ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス《オデュッセウスに杯を差し出すキルケー》
1891年 油彩・カンヴァス オールダム美術館蔵 © Image courtesy of Gallery Oldham
- P. 29 : © 2017「ミックス。」製作委員会
- P. 29 : © 2018「今夜、ロマンス劇場で」製作委員会
- P. 31 : © Fuji Games, Inc. / Marvelous Inc.